

## 1 組織

### (1) 東京都立目黒高等学校運営連絡協議会

### (2) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、情報総務部主任、生活指導主任、進路指導主任、保健部主任 情報総務担当 計9名

### (3) 協議委員

大学院教授、近隣特別支援学校長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣寺住職、近隣児童館館長、PTA 会長副会長、同窓会会長 計9名

## 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

### (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、内容

第1回 令和4年 6月10日(金) 16時～17時

第2回 令和3年 11月18日(金) 16時～17時

委員紹介、学校運営計画説明、教育活動報告、

第3回 令和4年2月10日(金) 書面開催 \*大雪のため

## 3. アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・ 令和4年12月 全校生徒 対象700名、回収605名 回収率86%
- ・ 令和4年12月 教職員 対象43名、回収35名 回収率81%
- ・ 令和4年12月 保護者 対象700名、回収305名 回収率43%
- ・ 令和4年12月 地域の方 配布50名、回収2名 回収率4%

### (1) 主な評価項目

学校運営、学習、進路指導、特別活動、生活指導、教員、施設・設備など

### (3) 評価結果の概要

#### ① 学校運営について

学校生活の満足度について、生徒全体では、87.3%が肯定的な意見である。

#### ② 学習について

- ・ 授業に満足していると回答した生徒は86.5%、教職員は97.2%である。また、ICTを利用した対話的な授業については、生徒は80.3%、教職員は91.4%が肯定的な回答であった。全学年でiPadの導入よりICT関係の評価が高まっている。

- ・ 進学や受験に向けた内容が含まれた授業が実施については、生徒87.4%、教職員では100%が肯定的な回答である。進学や受験を意識した授業が行われているといえる。

#### ③ 進路指導について

「計画的な進路指導」については、肯定的な回答の生徒全体は86.6%、教職員は91.5%が肯定的な回答であり、進路指導が系統的に行われているといえる。

#### ④ 特別活動について

- ・ 学校行事、生徒会活動において自主・自律の精神を育てる取組に関しては、生徒の肯定的な回答が72.7%、保護者が87.7%、教職員が65.7%である。
- ・ 部活動が活発に行われているかどうかに関しては、生徒の肯定的な回答が87.4%であった

昨年度は 84,3%、コロナ禍で学校行事や部活動については厳しい制限があったが、工夫により新しい形を模索して生徒が取り組んでいる。

⑤ 生活指導について

- ・ 目黒高校での服装・頭髪・挨拶等の生活マナーについては集計したアンケート項目の中で生徒からの肯定的な回答が 92.2% と高い。地域の方も 100% が肯定的な回答であるが、教職員が 62,9%と例年より 20~25%より評価が落ち込んだ。コロナ禍や暑さ対策、防寒対策などで制服の着用で乱れが生じていると教員が感じている結果と考える。身だしなみ指導を実施して目高生として正しく制服を着用させる指導に課題がある。
- ・ 生徒の悩み等の相談について、担任などに相談しやすいと回答した生徒が 72.4% (昨年 72.1%)、教員が 91.4% (昨年度 86%)、保護者 81.7% (昨年度 82,9) であった。今後もスクールカウンセラーとの連携し、さらに相談しやすい体制を作る。

⑥ 施設・設備の整備について

- ・ 施設・設備が十分に整備されているかどうかについての肯定的な回答は、生徒では 77.3%、保護者は 68.2%、教職員は 57.1% であり、夏の急激な猛暑で空調に不具合が生じ、冷風機をリースで対策したが低い傾向となった。令和 5 年度には空調の改修工事が予定されているため、課題は解決する。

⑦ 情報機器の活用について

情報機器の活用で学習効果が向上したかという質問に対し、生徒 77.8%、保護者 64,9%が効果があると回答した。保護者の中には端末を学習以外に使用することへの不安の意見があり、学校で情報機器を学習ツールとして指導することが期待されている。学校行事の活用では 88.6%、保護者 82,6%先行実施より昨年度より活用の幅が広がって、データの集約など様々な場面で活用できたという評価が高かった。

4. 評価結果の考察

- ・ 学校生活に満足度について、生徒の学力レベルが上昇してきていることにより、現状に満足しない生徒が増えてきているといえる。今後も、生徒アンケート等の意見を受け止め、検討、改善して、生徒に伝えていく。
- ・ 新型コロナ感染症の予防対策にきちんと取り組んでいるという項目は数値が高く、黙食指導など肯定的にとらえ実践できた。
- ・ 教材や指導法の工夫において、生徒と教員に大きな差があり、教員一人ひとりの工夫にも差があり、生徒の個に対応する更なる支援が必要である。
- ・ 施設整備について、来年度より空調工事が入る、改修がすすむことにより評価が向上することを期待する。
- ・ QRコードにしたり、住区センターの会議で配布したりしたが、地域住民の回答率がコロナ禍もあり低いことが課題である。学校の情報を発信する更なる工夫が必要である。

5. 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人 (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1					3